

Semanario de S. Paulo

5

O EMBAIXADOR DO JAPÃO VISITARÁ O EXMO. REV. D. CARLOS DUARTE E APÓS VIRÁ A NOROESTE.

Em 18 do corrente partira do Rio de Janeiro, o embaixador do Japão, Exmo. Sr. Shichita Tatsuki para São Paulo, onde demorar-se-á até o dia 21, de onde partirá de manhã juntamente com o Consul Geral em São Paulo, Sr. Akamatsu, com destino a Botucatú, especialmente afim de conhecer visitando-o pessoalmente, o Exmo. Rev. D. Carlos Duarte Costa, Bispo daquela cidade.

Após feita a visita ao Rev. D. Carlos, S. Exma. endarcará 21 à tarde com destino a esta, em que será esperado 22 cedo.

O fim da viagem de caráter não official, é dedicado a visitar a colônia japoneza da zona Noroeste.

び及使大行一の事領總

不景氣の聲のうちに大正十四年のまくは鉗されて上塙第二植民地へも麗らかな元日がおとづれた。この日出度き日、當植民地に於ては午前九時より昨年新築された小学校に、児童、青年、家長參集の上四方拜賀式が挙行せられた。員の總選舉があつた。結果は左の通り、會長、亀井滿副會長、岩本正

鞍山生不景氣の聲のうちに大正十四年のまくは鉗されて上塙第二植民地へも麗らかな元日がおとづれた。この日出度き日、當植民地に於ては午前九時より昨年新築された小学校に、児童、青年、家長參集の上四方拜賀式が挙行せられた。員の總選舉があつた。結果は左の通り、會長、亀井滿副會長、岩本正

五年の正月迄は、植民地到る處コンニャクかビンニヨ、キナードと、皆が呑め歌の大陽氣だつたのに、本年は正月一般、火の消えなたよ、「ピンガ」も集まつて呑めず、因つて、年始回禮は何處でもオザン氣分で淋しかつた。毎年十日呑み正月が、本年は三日呑み正月もせなんだと不景氣な社にコボシで來た人もある。

上塙第二植民地の正月

ス市に催された一バザーに喧嘩があつた。報知により同市警察署長アルバロ、セビリヤ氏(二八)は自動車フオードに乗り現場へ駆つけ自働車から降りる處を、背後より六連發を放つて現場に倒れたり絶命。時は真夜中の十二時、夜は暗し、犯人は皆目不明の由。

本年度の徵兵召集延期

ス市に催された一バザーに喧嘩があつた。報知により同市警察署長アルバロ、セビリヤ氏(二八)は自動車フオードに乗り現場へ駆つけ自働車から降りる處を、背後より六連發を放つて現場に倒れたり絶命。時は真夜中の十二時、夜は

警察署長を殺す

人會計、佐藤四郎
芙蓉友次郎、片岡專一
周平氏を顧問として推選すると

等を議して散會した。

3月には第一回青年舞踏大會を催

し、出席辯士十數名盛會であつた

に決議した。植民地の緊急問題と

等を議して散會した。

3月には第一回青年舞踏大會を催

る。舊惡を洗ひ多澤あるが、此

の度は、徵兵猶豫願書の料金を、

ソロカバナ線ブレショーンの人に托

され、途中でチヨロリト一時拜借

して居り、領事館には届けぬし

たものだが、手辯の悪い野郎であ

る。舊惡を洗ひ多澤あるが、此

の度は、徵兵猶豫願書の料金を、

ノロ線ブロミソン驛、コルゴ

アヅ植民地では、毎年正月を村

長改選期として居る。本年も村長

改選をやつたが、是迄の村長は唯

の損益で小使であつた爲め、氣の

毒だと皆が一決して、今後は、年

に幾何かの報酬をすることにした

と。

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

交代に過ぎざるも時節柄排日運動

に應用せらるゝ懸念あるにより念

の應對振はネコで至極堂に入つ

の爲電報す。一月九日東京發バウ

ル領事館着電)

べき處、右は昨年十一月古兵除隊

に依る欠員を補充するに止り一月

中入營せる新兵にして時局とは何

等關係なく毎年定期時に行はる、

